



# 学校だより

平成29年9月12日

射水市立作道小学校

155号

## 新たな目標をもって

夏休みの後半、8月20・21日に6年生の立山登山がありました。6年生46名をPTAのボランティアの皆さん8名と教員10名で見守りながら、雄山の頂上を目指して一步一步進みました。今年は天候の変化が激しく、立山登山を行った小学校の中で頂上まで登ることができたのは半数だったそうです。幸いなことに、本校は2日間とも晴天に恵まれ、清々しい景色の中、頂上を目指すことができました。



しかし、いくら天気がよくても、やはり3000m級の山です。頂上に近づくにつれ、呼吸が苦しくなり、足取りも重くなってきました。子供たちの中には「なぜこんなつらい思いをしてまで、頂上を目指さなければならないのか」という思いをもった子もいると思います。そういう思いも、6年生全員で登頂した途端に吹き飛んだようです。頂上から見える360度のパノラマは本当に素晴らしいものでした。全員で撮った記念写真の子供たちの笑顔は自分たちのがんばりに対する勲章です。

「頂上でみんなで写真を撮ることが僕の目標だった」とうれしそうに話してくれた6年生がいました。6年生に限らず、各自いろいろな目標を立てて夏休みを過ごしたと思います。子供たちはこれから大人に近づくにつれ、やりたいことだけでなく、やらなければならないことも少しずつ増えてきます。その中で、自分なりの目標を見付け、努力することで大きく成長していきます。そして、その努力を見守り、励ますのは、我々大人の役割ではないでしょうか。子供たちが新たな目標に向かって努力していけるように、2学期も温かく見守っていきたいと思います。今学期も、ご理解、ご協力をお願いいたします。

### <子供たちのボランティア活動>

8月9日、4～6年生が、新湊南部中学校と塚原小学校の子供たちと共に、特別養護老人ホーム「万葉苑」にボランティア活動に出かけました。地域ボランティアの方々のご指導のもと、3校の子供たちが協力して、シーツ替えや掃除をしたり、お年寄りの方と触れ合ったりしました。また、民生委員の方々と共に、一人暮らしのお年寄りの方の家を訪問して、話し相手になってきた子供たちもいます。

様々な立場の人と触れ合ったり共に活動したりすることで、広い視野をもつことができたり、思いやりの心が育ったりします。参加した子供たちはとてもよい経験ができたと思います。ありがとうございました。



### <早朝奉仕作業 ありがとうございました>

8月20日  
作道地域振興会主催  
「3世代美化活動  
たのし実の森 除草整備作業」

8月27日  
「親子早朝奉仕作業」  
今年は天候の影響で例年以上に雑草がよく育ち、除草作業も大変だったと思います。また、PTAの方には、畑の枠作りという例年にない作業にもご協力いただきました。

お陰様で、子供たちは元気に気持ちよく活動しています。本当にありがとうございました。

## 学力向上に向けて

「学力」というと何を思い浮かべられるでしょうか。真っ先に浮かんでくるのはテストの点数という人も多いと思いますが、点数化できるものだけが学力ではありません。

2020年から学習指導要領が新しくなります。これからは学校教育を通して「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」がバランスよく育まれるようにしなければなりません。

そこで、学力面においては、以下のような取り組みを始めています。  
(徳育的な面、体力的な面につきましては、後日お伝えします。)

### 【基礎学力の確認と定着】

<算数>月・水曜日の朝学習

・全学年同じミニプリントを使用し、スモールステップで学習する。

<国語>火曜日の朝学習

・同じ出版社の読解ドリルを使って、全学年、系統立てて読解力を養う。

### 【学びに向かう姿勢づくり】

① 筆箱の中身チェック(毎月初め)

学習用具を整え、学習に集中しましょう。

② 道の子学習下敷き(毎日意識できるように学校に置いておきます。)

「道の子 学習のきまり これだけは！」

みんなが授業に集中できるように、守ってほしいことです。

「目指せ! 道の子 ノートマスター」

後から見直すことができる分かりやすいノートづくりのポイントです。

子供たち一人一人が授業を終えたときに「分かった」「できた」と思えるように、これまで身に付いていなかった学習内容を朝学習で確認し、理解不足の内容に関しては補充学習を行っています。

また、子供たちが集中して授業に取り組み、自分たちの力を伸ばすことができることを願って、「道の子学習下敷き」を作成しました。下敷きは本日配布いたしましたので、お子さんと共に確認し、明日持たせてください。こんなに細かいことまで必要なかと思われるかもしれませんが、これをもとに学習の仕方を学び、自分なりの学習スタイルを確立して行ってほしいと願っています。ご協力をお願いいたします。

